

事務長新任の挨拶

令和7年4月より事務長職を拝命致しました、相原理(あいはら おさむ)と申します。

私は平成9年4月、社会福祉法人で施設現場職員として入職しました。

入浴・排泄・食事等の生活援助の業務を含め何もかもが充実し、仕事が楽しかったことを思い出します。その後、医療法人の病院へ異動になったのを機に事務職として21年目となります。当時は診療報酬・介護報酬って何?から始まり右も左もわからず、まさか私が事務長職という重責を担うことになるとは考えもしませんでした。これもひとえにご指導頂いた上司・先輩方をはじめとし、今まで出逢う事が出来たすべての方々のおかげとこの場を借り、深く感謝申し上げます。



さて、医療法人 和同会 宇部リハビリテーション病院は1979年3月開設から46年が経ちました。今後5年・10年・15年先を見据え、病院としてどうあるべきなのか?病棟や外来機能・施設を含めた再編も検討していかなければならない時期でもあり、粛々とやっていくしかないと感じております。

最後になりますが、恩師から「疾風勁草」という言葉を年賀で頂きました。困難や逆行に直面した時にはじめてその人の真価や意思の強さがわかるという例えだそうです。何をやるにもその根拠は何かという私なりの武器をしっかりと抑えて対応していく所存です。

今後も、「信頼される医療・福祉を目指します」という法人理念をもとに、地域の皆様に信頼される宇部リハビリテーション病院となれるよう努めて参りますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

医師の紹介

令和6年9月より勤務しております医師の今村孝子です。山口市在住のため、当初は通勤が不安でしたが、積雪の冬を乗り越え、今では季節の移ろいを楽しむほどになりました。殊に、病院周辺の桜の美しさには感動しました。「おばあさんになるまで小児科医を」と思っていたのですが、小児科医(山大附属病院、現県立総合医療センター)を18年間、行政医(保健所、県庁)を18年間、内科医(精神科病院の認知症療養病棟)を13年間が、医師としての約半世紀の経歴です。

内科医としての臨床経験が十分ではありませんが、諸先生やスタッフの皆さんの助けをお借りして、かつこれまでの経験を糧に私なりに頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



医食同源という言葉があります
人を良くすると書いて『食』
食べるを支援する摂食嚥下チームのスタッフをご紹介します

今回はチームの一員である

作業療法士(OT)の役割について

お伝えいたします!



- ◆ 食事や排泄などの日常生活上のリハビリを担当
- ◆ チーム内では食事の姿勢や使いやすい食器について検討する役割を担う

食器のいろいろ

●ばね箸

【使用例】



バネの力でつまみやすい

●介助皿 ●太柄スプーン

【使用例】



持ちやすく、すくいやすい

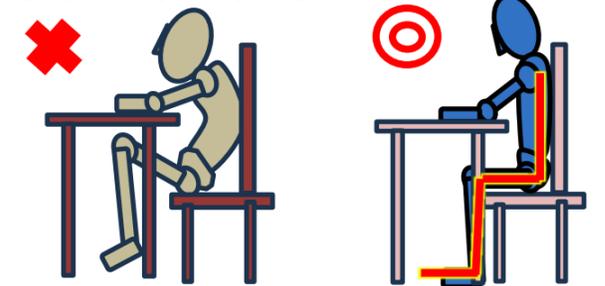
¥100
100円ショップにも
介護用の食器が販売されています



食べやすい・飲みやすい
シリーズ

食べる姿勢のポイント

【具体例(椅子の場合)】



- ◆ 手を使いやすく、疲労せずに姿勢を保てる
- ◆ 体がぐらつかず、まっすぐに姿勢を維持できる
- ◆ 首の筋肉がリラックスできていて飲み込みやすい
- ◆ できるだけむせこみが少ない状態で食べられる

お食事についてお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください
TEL: 0836-51-3111 (嚥下外来)